

カーリング

労働者委員 木佐貫美保

2月6日から22日まで開催されるミラノ・コルティナ冬季オリンピックは、8競技（スキー・スケート・アイスホッケー・ボブスレー・リュージュ・カーリング・バイアスロン・スキーマウンテンアリング）116種目が実施されます。

その中の「カーリング」を昨年、北海道で体験することができました。

そもそもカーリングは、今から500年以上前、北欧の人々が凍った池や川の上で石を滑らせて遊んだことが始まりと言われています。1938年にスコットランドでルールが決められ、英国発祥のスポーツとして広まりました。日本では、1977年北海道池田町で紹介されたことがきっかけで、冬のスポーツとして北海道内に広がっていきました。1998年の長野オリンピックから正式種目になっており、現在、4人制（男子・女子）、男女ペアのミックスダブルス、パラリンピックでは車いすカーリングがあります。

私が体験したのは、カーリング独特の動作の練習とミニゲームができる120分のベーシックプラン。ヘルメットと膝当てをつけていざ、氷上へ。氷は細かい凸凹があるので、スケートリンクより滑りにくく、片方のシューズに裏が滑るカバーをつけても問題なく歩くことができました。ブラシで氷をこすって、ストーンの投げ方を教わり、実際の競技よりもハウス（目標区域の円）に近いところから2対2に分かれてミニゲーム。中心のストーンを弾き飛ばしたり、相手の邪魔をしたり、何にも当たらず通過していったり。残り投数を考えながら、狙い通りのところにストーンを投げるのは難しかったけど、これぞカーリングで楽しかったです。

最後に、ハック（投球するときの蹴り台）を使って、実際の競技と同じ約40m先のハウスにストーンを投げる練習をしたのですが、バランスをとるのが難しく、イメージ通りにいきません。何度か挑戦して、初めより見られる格好で投げることができました。体験して分かったことは、不格好なまま投げてでもストーンはハウスに入る。

カーリングクラブ所属の大学生指導の下、大人4人で体験しましたが、2時間があっという間でした。次の日は、右肩周りが筋肉痛となりましたが、次、体験するときは、本格カーリングプランに挑戦してみたいと思います。

日本代表選手の活躍、熱戦が繰り広げられるだろう、ミラノ・コルティナ冬季オリンピックを応援しています。